

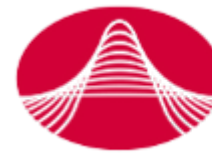
令和4年度 TRセンター運営戦略連絡会 報告

担当理事

名古屋大学医学部附属病院 先端医療・臨床研究支援センター
水野 正明

連絡会世話人

岡山大学理事（研究担当） 副学長
那須 保友
岡山大学病院 新医療研究開発センター
櫻井 淳



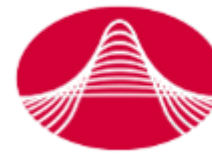
TRセンター運営戦略連絡会

□連絡会の趣旨・位置づけ

- ◆TRセンターの自立化と人材のサステナビリティ確立を目指し、拠点間の取組を共有する。
- ◆課題の解決に向けた拠点間の情報交換
- ◆ARO協議会、AMED等へのセンター運営に関わる意見交換

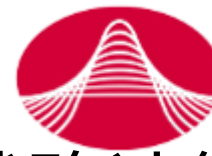
□メンバー（21機関） 令和4年9月現在

- ◆北海道大、東北大、東京大、名古屋大、京都大、大阪大、神戸医療産業都市推進機構、九州大、群馬大、千葉大、国立がん研究センター、慶應大、名古屋医療センター、筑波大、長崎大、がん研究会有明病院、順天堂大、**広島大、神戸大、東京医科歯科大、岡山大**



TRセンター運営戦略連絡会（直近5回）

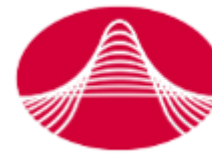
	開催日	議 題
第8回	H30年8月30日 (福岡)	<ul style="list-style-type: none">TRセンターのサステナビリティ確立に向けた各拠点の取り組みの現状経営を効率化するための各拠点の特徴的な取り組み
第9回	R元年9月26日 (仙台)	<ul style="list-style-type: none">医師主導治験データの有償移転にかかる契約ひな型についてオープンイノベーション加速化のための取り組み第4期橋渡し事業への提言（特にGlobal展開について）
第10回	R3年8月4日 (オンライン)	<ul style="list-style-type: none">拠点の運営に必要な財政収支の見通し及び公的資金以外の外部資金獲得に向けた特徴的な取り組み
第11回	R4年8月30日 (オンライン)	<ul style="list-style-type: none">公的資金以外の外部資金獲得に向けた特徴的な取り組み企業出資型臨床研究（受託研究としての特定臨床研究・医師主導治験）や共同研究における間接経費に関する取扱いについての特徴的な取り組み
第12回	R4年9月15日 (柏市)	<ul style="list-style-type: none">拠点運営全般に関する意見交換拠点運営ビジョン・組織ガバナンス若手人材育成、研究支援部門の採算性



第11・12回TRセンター運営戦略連絡会 (主な議題)

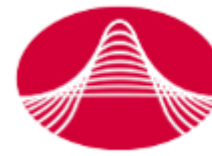
- 公的資金以外の外部資金獲得に向けた特徴的な取り組み
- 企業出資型臨床研究（受託研究としての特定臨床研究・医師主導治験）や共同研究における間接経費に関する取扱いについての特徴的な取り組み

- 従来のARO支援収入に加えて・・・
 - ◆ 他事業の人的支援によるAROサポート
 - ◆ 大学基金、寄付型クラウドファンディングによる医師主導治験の実施
 - ◆ オープンイノベーションプログラム会員制度
 - ◆ ベンチャーキャピタル（VC）との共同プログラムによるベンチャー支援
 - ◆ 特徴的な研究への注力：再生医療等製品、SaMDなど
 - ◆ 間接経費のAROへの配分増：間接経費率の上昇のための戦略的産学連携経費、大学本部との調整



連絡会での拠点意見まとめ

- 橋渡し拠点の認定制度がはじまり、臨床研究中核病院も機能的には成熟しつつある。その中で、各拠点の特色を生かした経営が行われており、それぞれ好事例が増えてきた。
- 一方で、全学的なガバナンスの視点が今後拠点運営にはさらに必要になってくるであろう。大学全体の経営ビジョンにおいて、病院・医学部・TRセンターの位置づけ（体制づくり、組織化）が明確になる必要がある。
- さらに、今後
 - ◆ 組織運営ガバナンスの中で、いかにTRセンターの研究支援活動を位置付けていくか／経営の重要なアセットと位置付けていけるか
 - ◆ 民間の研究資金をいかに経営に取り込み、センターに活かすか
 - ◆ 若手人材の雇用と育成、次世代の支援人材の確保
 - ✓ 新卒者の獲得（学部から育成）、魅力のあるキャリアパス提示、人事考課への反映
 - ◆ TRセンターがもつ各部門の採算性に関する議論
 - ◆ ベンチャー企業支援をいかにTRセンターへの収益につなげるか



まとめ

- TRセンター運営戦略連絡会が、センター・大学の研究支援体制のサステナビリティにいかに関与していくかが課題。
- 大学および病院執行部の組織ガバナンスの中にTRセンターを位置付け、大学の行う様々な事業とのコラボレーションを図りながらTRセンターの発展を図る等、今後のTRセンターの位置づけ、重要性を増すような取組を行う。
- TR連絡会で「各拠点の成功事例を共有」
 - ◆大学の研究体制・ガバナンスにおけるTRセンターの位置づけ明確化
 - ◆民間の資金を経営に取り組む
 - ◆大学本部・事務への情報共有・成功事例の共有を行う。